

2007年3月期 決算説明会

2007年5月10日

日機装株式会社

■ 決算概要

■ カンパニー業績推移

■ セグメント業績推移

■ 営業外損益、特別損益

■ 貸借対照表(連結)

■ キャッシュ・フロー

■ 予想数値データ

○ 業績見通し ○ カンパニー別受注・売上予想

■ 各種データ

○ 業績推移 ○ 各種比率の推移

○ 売上高構成(カンパニー、製品別)

○ 輸出売上高推移 ○ 輸出国別売上

○ カンパニー別売上高、受注高、受注残高

■ 決算概要(連結)

(単位:百万円)

	2005.03(参考)	2006.03	2007.03	増減
受注高	55,522	62,265	70,239	7,974
売上高	54,307	58,916	65,399	6,483
売上総利益	16,982	18,883	20,353	1,470
販管費	13,245	13,253	14,617	1,364
営業利益	3,736	5,630	5,736	106
経常利益	4,387	6,553	6,410	△143
当期純利益	2,518	3,709	4,015	306

■カンパニー別売上高推移(連結)

(単位:百万円)

	2005.03(参考)	2006.03	2007.03	増減
流体技術	14,430	14,951	17,581	2,629
ISOL	6,523	7,312	9,362	2,049
複合材	2,801	3,600	4,388	788
医療機器	30,551	33,052	34,067	1,015

■ 事業別セグメント業績推移(連結)

(単位:百万円)

		2005.03(参考)	2006.03	2007.03
工業部門	売上高	23,756	25,864	31,332
	(営業費用)	22,022	23,137	27,427
	(営業利益)	1,734	2,726	3,904
医療部門	売上高	30,551	33,052	34,067
	(営業費用)	26,666	27,997	29,881
	(営業利益)	3,884	5,054	4,185

■所在地別セグメント業績推移(連結)

(単位:百万円)

		2005.03(参考)	2006.03	2007.03
日本	売上高	51,160	55,852	60,842
	(営業費用)	45,749	48,280	53,033
	(営業利益)	5,410	7,572	7,786
アジア	売上高	3,944	4,601	5,264
	(営業費用)	3,521	4,470	5,219
	(営業利益)	423	131	44
北アメリカ	売上高	1,276	1,800	2,568
	(営業費用)	1,291	1,632	2,323
	(営業利益)	△14	167	244
ヨーロッパ	売上高	4,273	4,286	5,423
	(営業費用)	4,577	4,211	5,243
	(営業利益)	△303	74	180

■ 營業外損益(連結)

○ 主な營業外損益項目

(単位:百万円)

(収益)	2006.03	2007.03
持分法投資利益	251	351
受取地代家賃	139	152
為替差益	362	117
(費用)		
支払利息	188	257
棚卸資産処分損	80	63

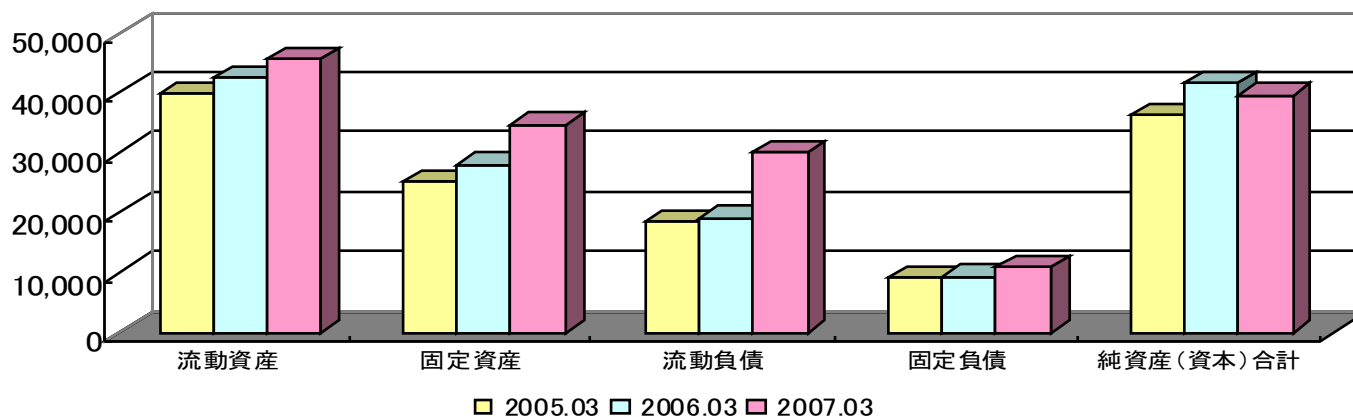
■ 特別損益(連結)

○ 主な特別損益項目

(単位:百万円)

(利益)	2006.03	2007.03
投資有価証券売却益	4	61
事業譲渡益	—	52
(損失)		
固定資産除却損	150	139
事業撤退損失	—	71
事業譲渡損	—	65

■ 貸借対照表推移(連結)



(単位:百万円)

	2005.03(参考)	2006.03	2007.03
流動資産	39,603	42,623	45,547
固定資産	24,974	27,905	34,597
資産合計	64,577	70,529	80,144
流動負債	18,631	19,052	29,954
固定負債	9,143	9,284	10,760
負債合計	27,774	28,336	40,714
少数株主持分	545	608	553
純資産(資本)合計	36,257	41,584	39,430

■ 貸借対照表(連結) 主な増減



(単位:百万円)

	2006.03	2007.03	増減額
○資産の部			
現金および預金	8,174	6,413	△1,761
受取手形および売掛金	21,527	25,917	4,390 ※1
有価証券	1,294	—	△1,294 ※2
棚卸資産	10,057	11,441	1,383 ※1
投資有価証券	9,571	14,147	4,576 ※3
○負債の部			
短期借入金	2,885	6,991	4,105 ※4
一年以内返済予定長期借入金	988	6,910	5,921 ※4
長期借入金	6,670	8,272	1,601 ※4
○純資産の部			
自己株式	△1,604	△7,141	△5,537 ※5

(増減の主な内訳)

※1 売上高、受注高増加に対応した増加

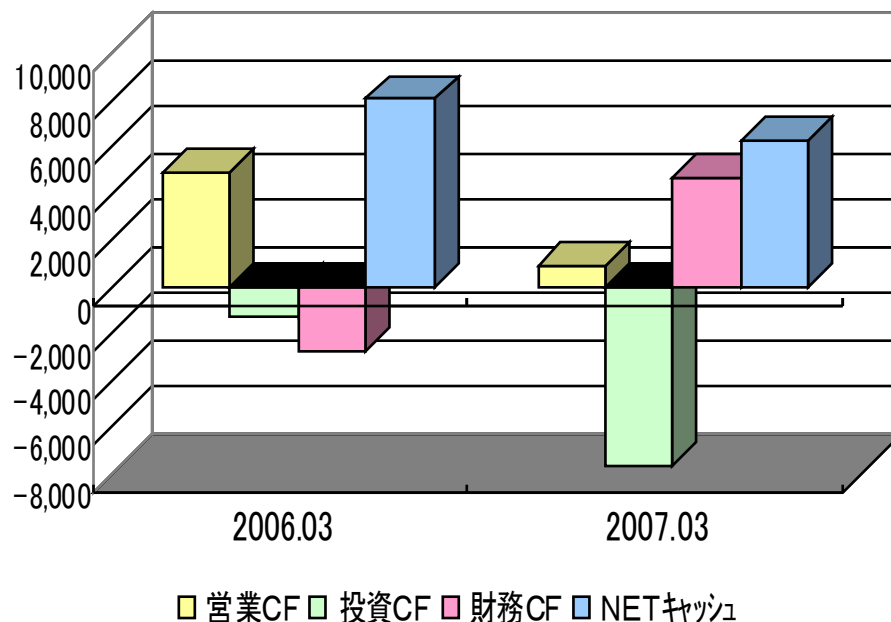
※2 CP債権の償還

※3 株主安定化

※4 運転資金対応

※5 資本政策の機動性確保のための自己株式取得

■ キャッシュフロー(連結)



(単位: 百万円)

	2006.03	2007.03	増減額
営業CF	4,902	937	△3,965
投資CF	△1,224	△7,594	△6,369
財務CF	△2,671	4,718	7,389
NET キャッシュ	8,077	6,278	△1,798

主な増減内訳

営業CF:

売上債権 増加	△2,857
仕入債務 減少	△1,198
法人税等の支払額	△989

投資CF:

有形固定資産 取得	△1,559
投資有価証券 取得	△2,316
投資有価証券 売却	△2,724

財務CF:

短期借入	20,322
短期借入金 返済	△16,342
長期借入	8,500
長期借入金 返済	1,290
自己株式 取得	△5,799

■業績の見通し(2008年3月期)

(単位:百万円)

(連結)	2007.03 実績	2008.03 1/2 予想	2008.03 2/2 予想	2008.03 合計	増減額
売上高	65,399	34,500	37,500	72,000	6,601
営業利益	5,736	2,700	3,800	6,500	764
経常利益	6,410	2,900	4,000	6,900	490
当期純利益	4,015	1,900	2,400	4,300	285

(単独)	2007.03 実績	2008.03 1/2 予想	2008.03 2/2 予想	2008.03 合計	増減額
売上高	57,708	30,000	31,000	61,000	3,292
営業利益	4,912	2,500	3,200	5,700	788
経常利益	5,530	2,800	3,200	6,000	470
当期純利益	3,421	2,100	1,900	4,000	579

■カンパニー別受注・売上予想(連結)

(単位:百万円)

		2007.03 実績	2008.03 1/2 予想	2008.03 2/2 予想	2008.03 合計
流体技術	受注	21,583	10,600	9,600	20,200
	売上	17,581	9,300	9,500	18,800
インダストリアル ソリューションズ	受注	10,041	4,600	5,400	10,000
	売上	9,362	4,400	5,000	9,400
複合材	受注	4,394	2,500	2,600	5,100
	売上	4,388	2,500	2,600	5,100
医療機器	受注	34,219	18,300	20,400	38,700
	売上	34,067	18,300	20,400	38,700
合 計	受注	70,239	36,000	38,000	74,000
	売上	65,399	34,500	37,500	72,000

■ 決算概要(单独)

(単位:百万円)

	2005.03(参考)	2006.03	2007.03	増減
受注高	49,495	55,925	62,164	6,238
売上高	48,245	52,770	57,708	4,937
売上総利益	12,936	14,645	15,626	980
販管費	9,631	9,862	10,713	850
営業利益	3,305	4,782	4,912	130
経常利益	4,060	5,586	5,530	△56
当期純利益	1,651	3,146	3,421	274

■カンパニー別売上高推移(単独)

(単位:百万円)

	2005.03(参考)	2006.03	2007.03	増減
流体技術	11,471	12,149	14,305	2,155
ISOL	5,951	6,245	8,146	1,900
複合材	2,801	3,600	4,388	788
医療機器	28,020	30,774	30,867	92

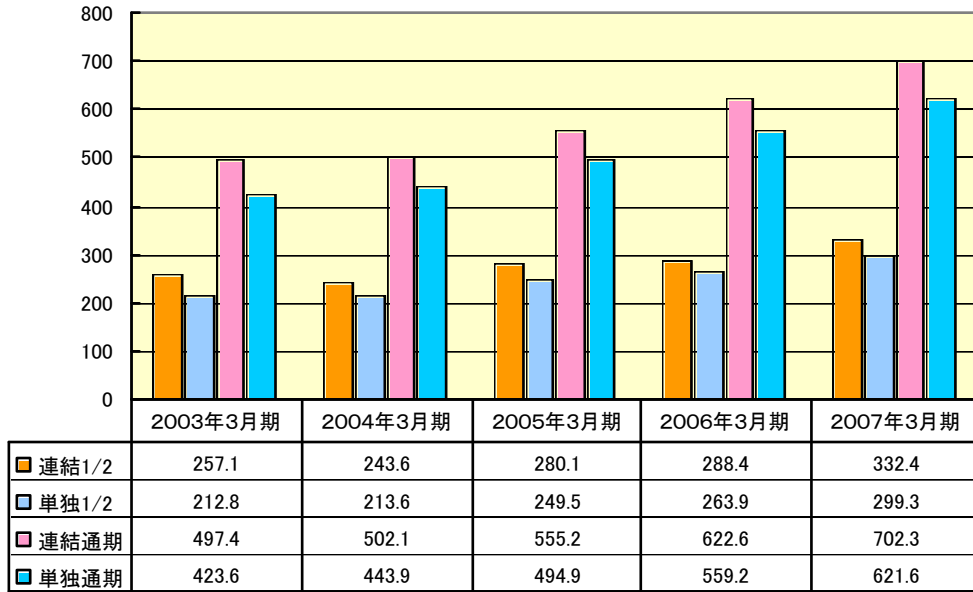
■カンパニー別受注・売上予想(単独)

(単位:百万円)

		2007.03 実績	2008.03 1/2 予想	2008.03 2/2 予想	2008.03 合計
流体技術	受注	18,031	8,300	7,800	16,100
	売上	14,305	7,200	7,400	14,600
インダストリアル ソリューションズ	受注	8,821	4,100	4,600	8,700
	売上	8,146	4,200	4,000	8,200
複合材	受注	4,394	2,500	2,600	5,100
	売上	4,388	2,500	2,600	5,100
医療機器	受注	30,916	16,100	17,000	33,100
	売上	30,867	16,100	17,000	33,100
合 計	受注	62,164	31,000	32,000	63,000
	売上	57,708	30,000	31,000	61,000

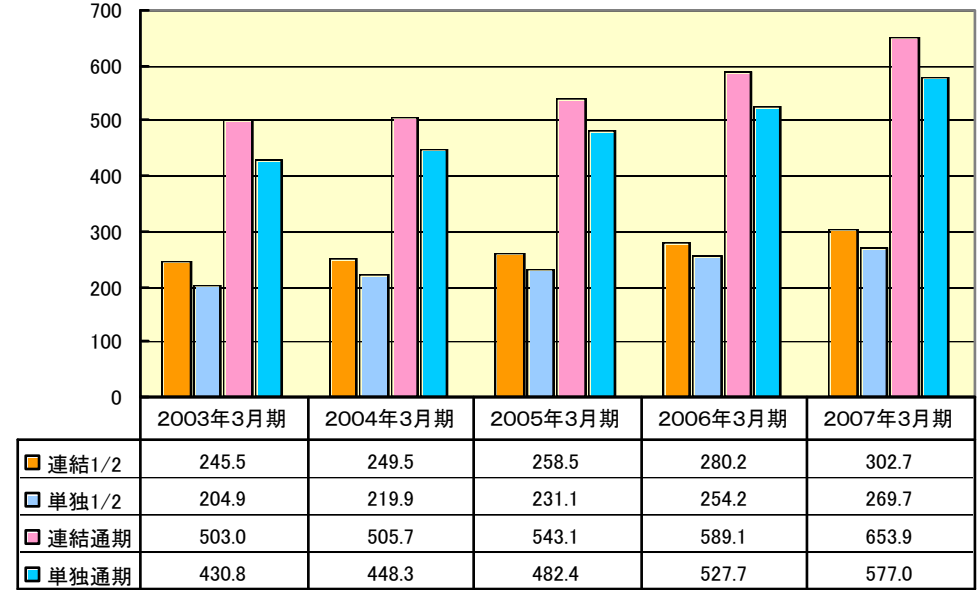
業績推移(受注)

【単位:億円】



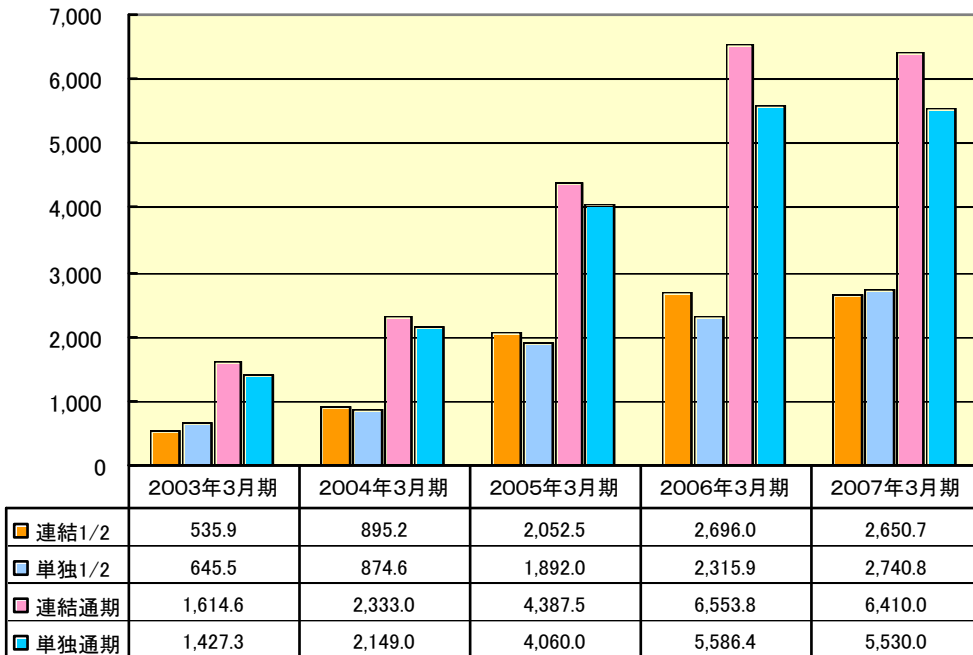
業績推移(売上)

【単位:億円】



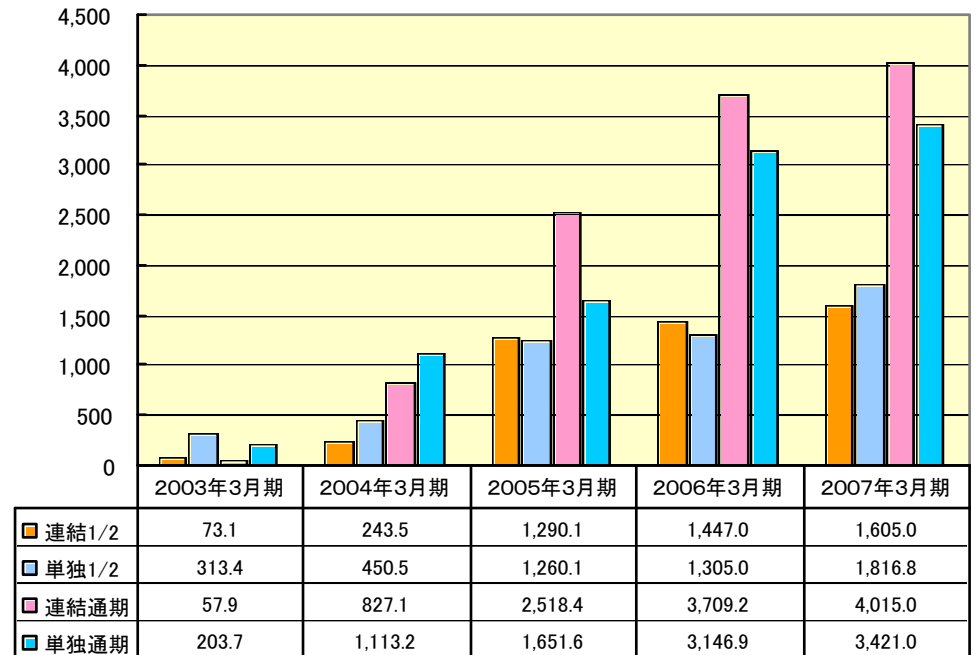
業績推移(経常利益)

【単位:百万円】



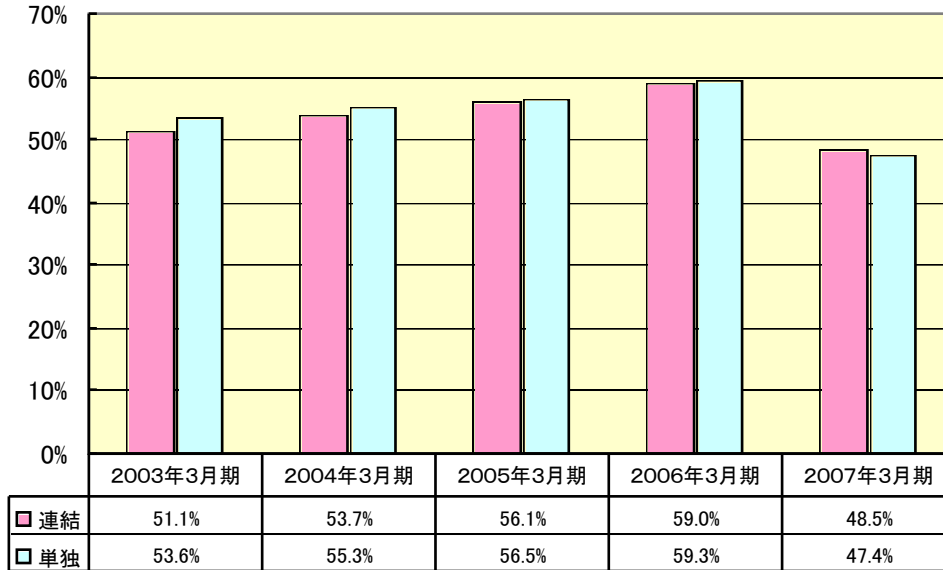
業績推移(当期純利益)

【単位:百万円】



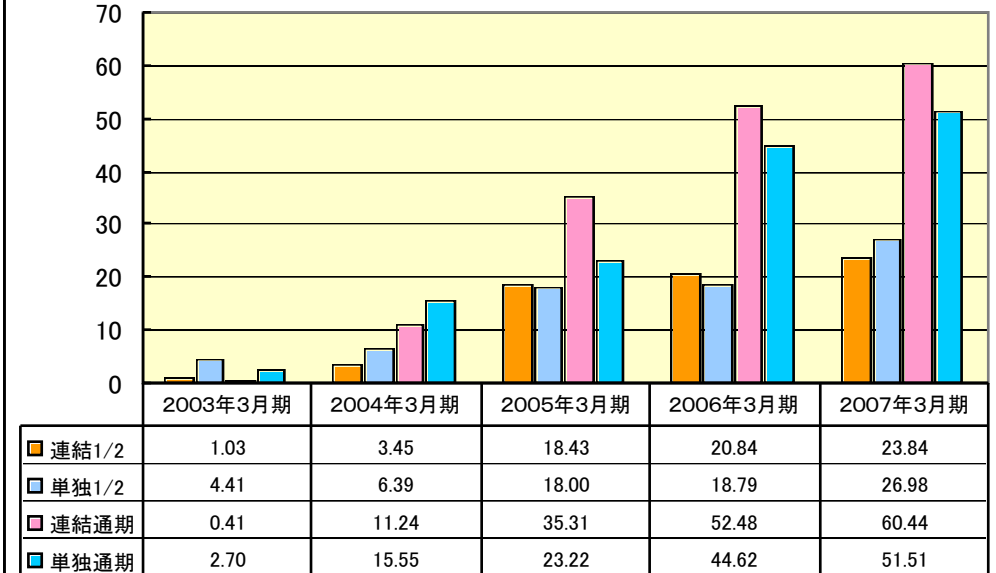
自己資本比率推移

【単位 %】



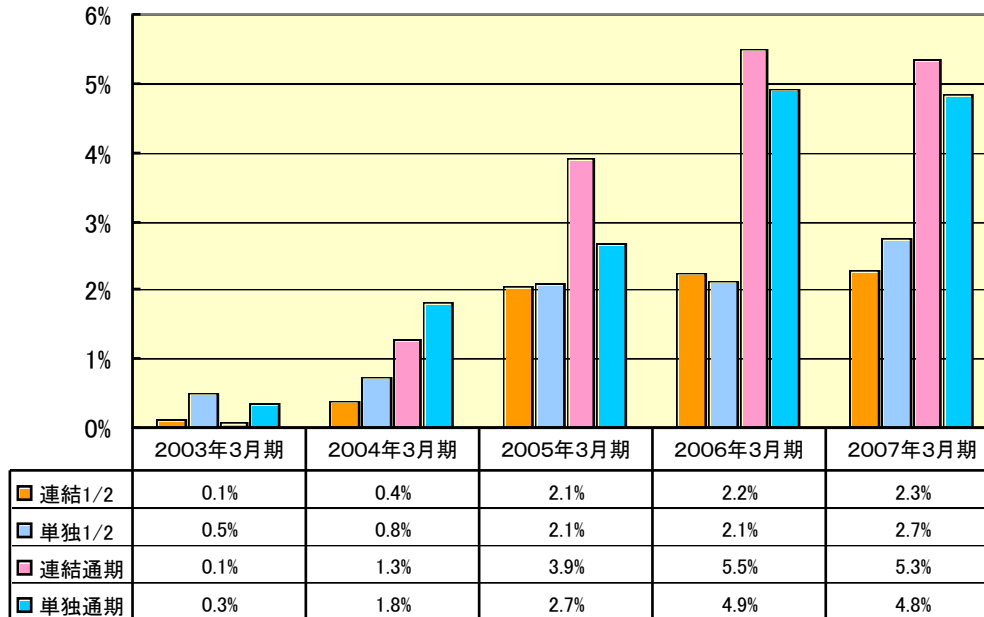
一株当たり当期純利益推移

【単位 円 銭】



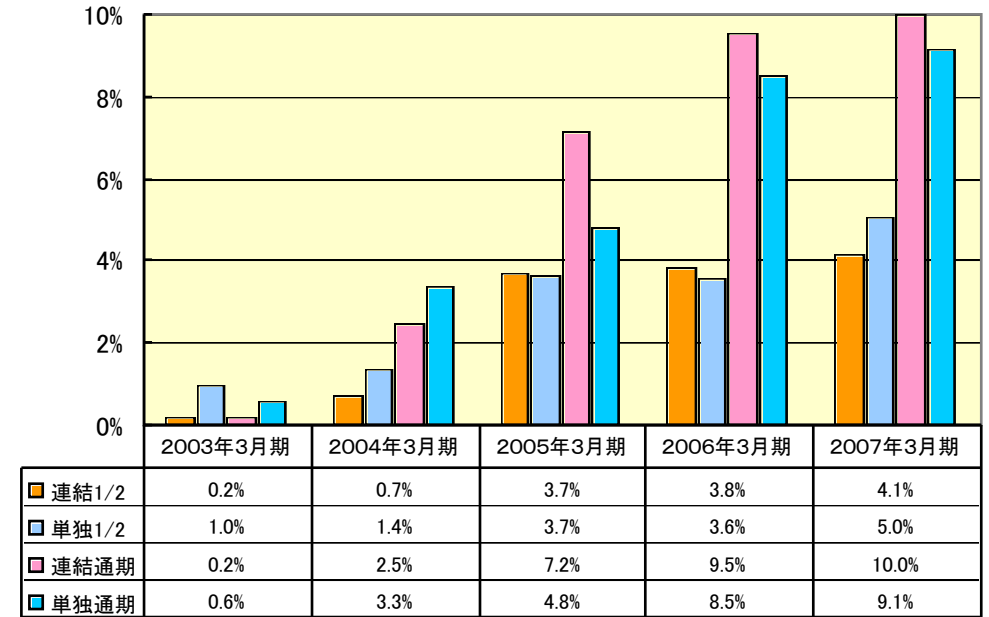
ROA比率推移

【単位 %】

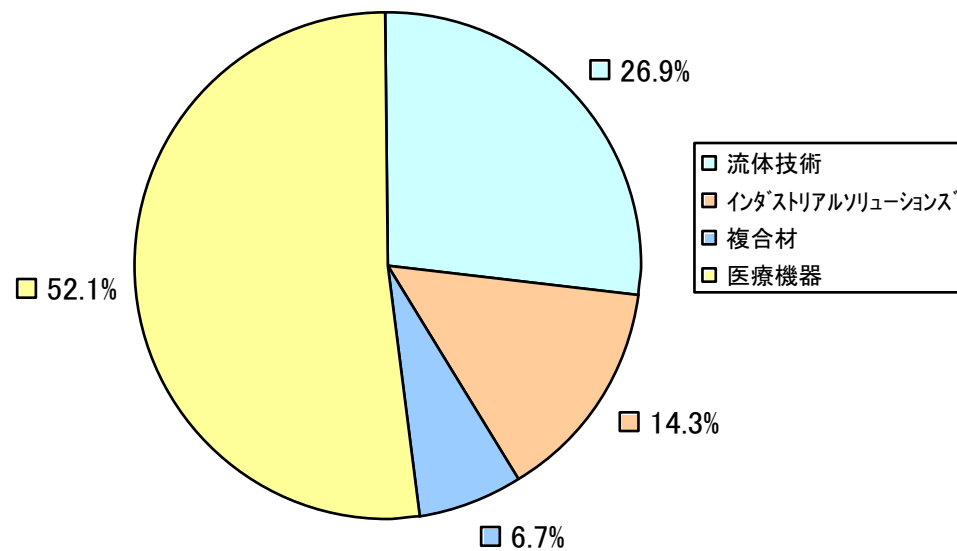


ROE比率推移

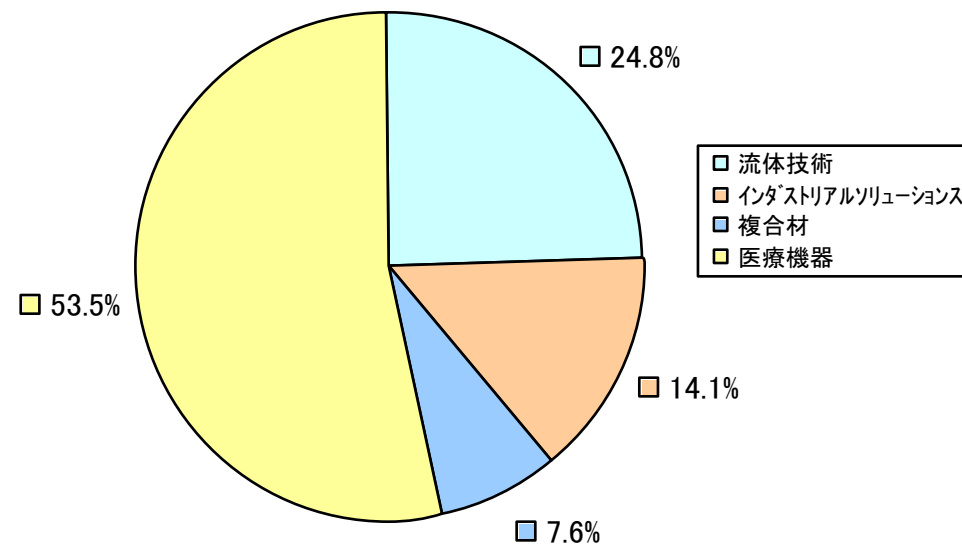
【単位 %】



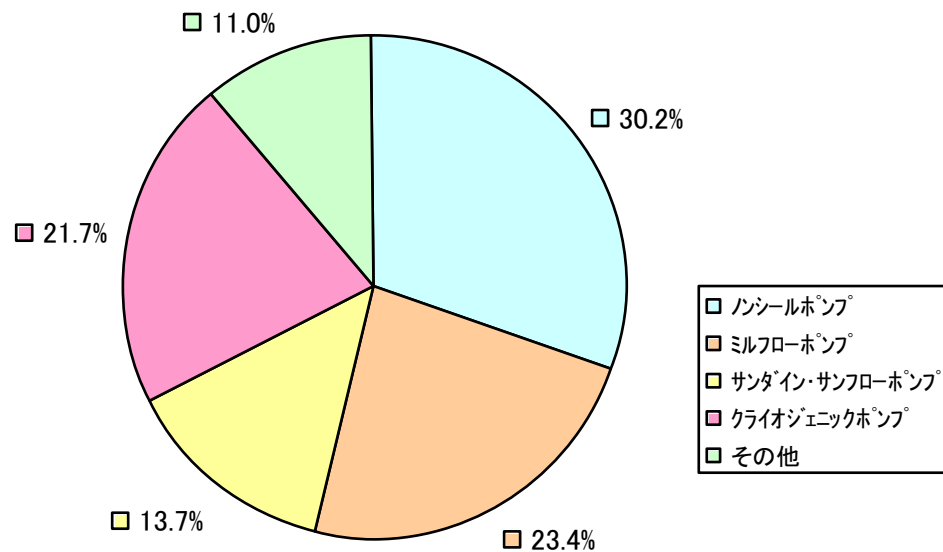
2007年3月期 日機装(株) 売上高構成(連結)



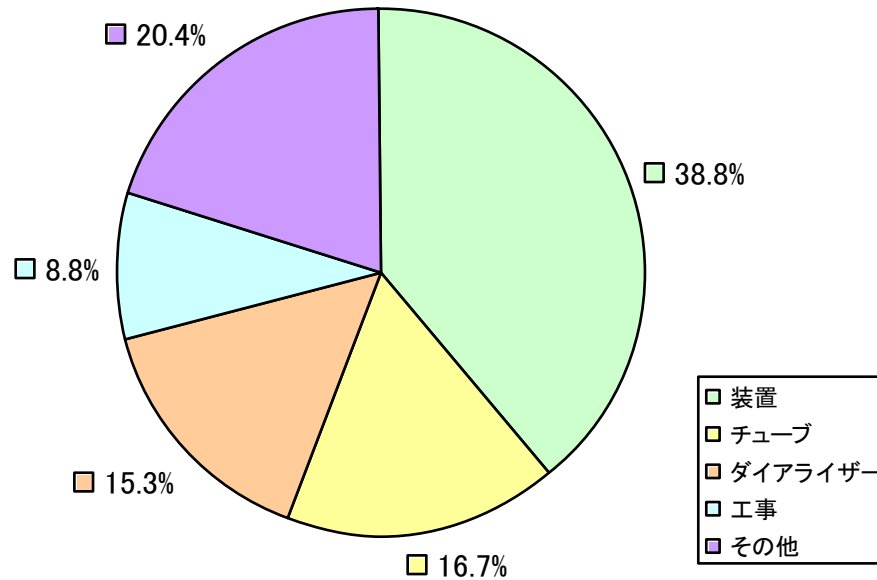
2007年3月期 日機装(株) 売上高構成(単独)



2007年3月期 流体技術 売上高構成(単独)

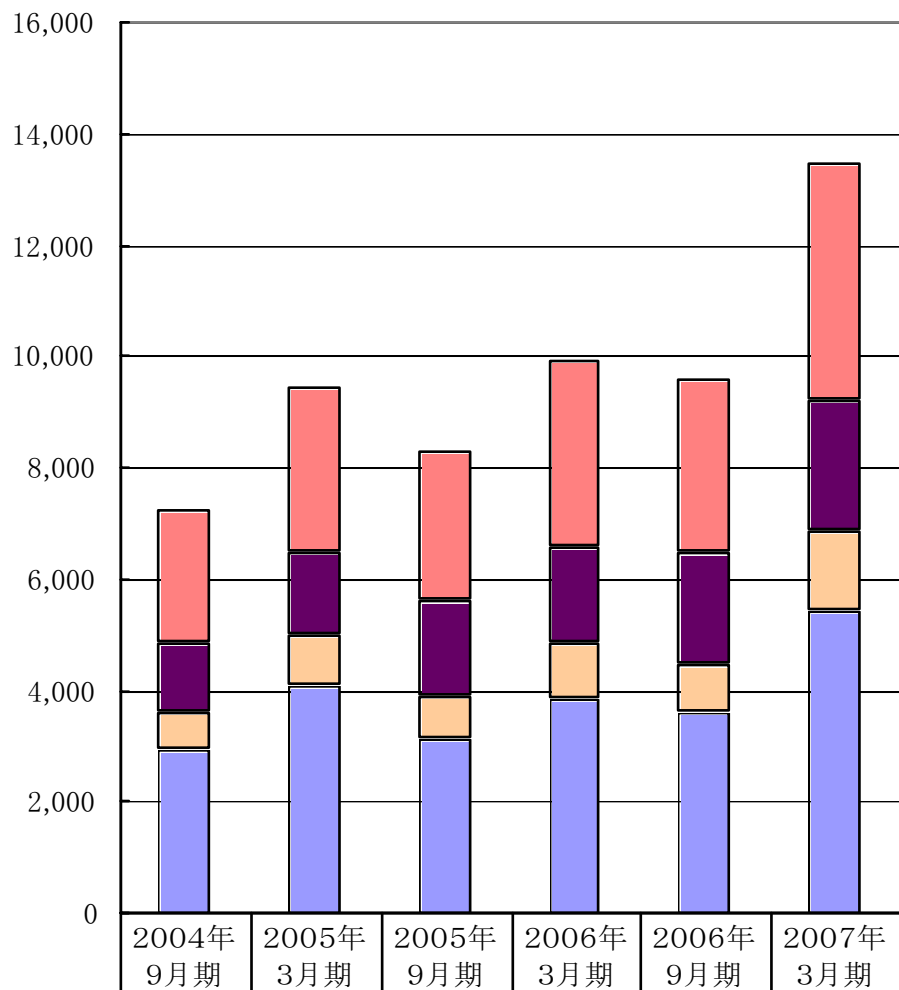


2007年3月期 医療機器 売上高構成(単独)

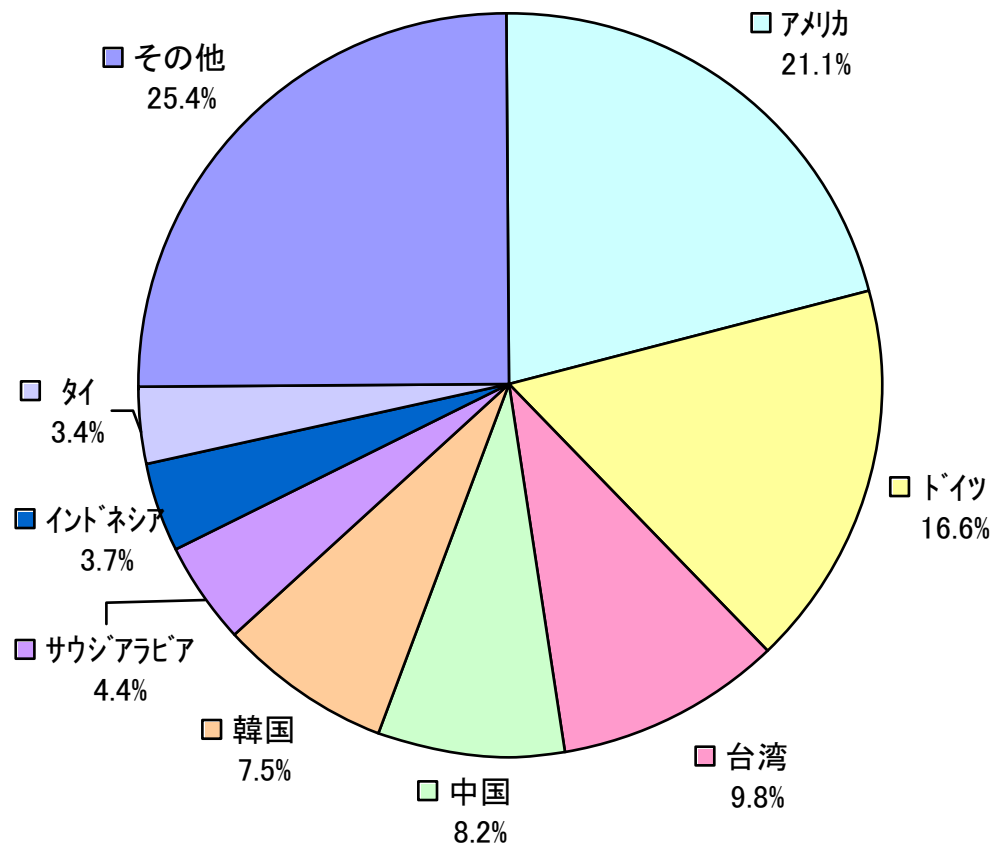


海外売上高推移(連結)

【単位:百万円】



2007年3月期 輸出売上高「国別」構成(単独)



連結 部門別売上高・受注高および受注残高

(単位：百万円)

分区分	項目	前連結会計年度 (自 平成17年4月 1日 至 平成18年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成18年4月 1日 至 平成19年3月31日)		増減金額 (百万円)	増減率(%)	
		金額	構成比%	金額	構成比%			
工業部門	流体技術 カンパニー	売上高	14,951 (6,926)	25.4 (38.0)	17,581 (8,973)	26.9 (39.0)	2,629 (2,047)	17.6 (29.6)
		受注高	17,256 (8,750)	27.7 (43.0)	21,583 (12,735)	30.7 (47.3)	4,327 (3,984)	25.1 (45.5)
		受注残高	8,163 (5,997)	70.4 (90.3)	12,166 (9,759)	74.0 (92.6)	4,002 (3,761)	49.0 (62.7)
	インダストリアル ソリューション カンパニー	売上高	7,312 (1,791)	12.4 (9.8)	9,362 (2,329)	14.3 (10.1)	2,049 (538)	28.0 (30.0)
		受注高	8,169 (1,999)	13.1 (9.8)	10,041 (2,391)	14.3 (8.9)	1,871 (391)	22.9 (19.6)
		受注残高	3,013 (474)	26.0 (7.2)	3,691 (536)	22.5 (5.1)	678 (61)	22.5 (13.0)
	複合材 カンパニー	売上高	3,600 (3,435)	6.1 (18.9)	4,388 (4,324)	6.7 (18.8)	788 (888)	21.9 (25.9)
		受注高	3,617 (3,435)	5.8 (16.9)	4,394 (4,324)	6.3 (16.0)	777 (888)	21.5 (25.9)
		受注残高	19 (--)	0.2 (--)	26 (--)	0.2 (--)	6 (--)	32.1 (--)
	小 計	売上高	25,864 (12,153)	43.9 (66.7)	31,332 (15,627)	47.9 (67.9)	5,467 (3,474)	21.1 (28.6)
		受注高	29,044 (14,186)	46.6 (69.7)	36,019 (19,450)	51.3 (72.2)	6,975 (5,264)	24.0 (37.1)
		受注残高	11,196 (6,472)	96.6 (97.5)	15,884 (10,295)	96.7 (97.7)	4,687 (3,822)	41.9 (59.1)
医療部門	医療機器 カンパニー	売上高	33,052 (6,061)	56.1 (33.3)	34,067 (7,401)	52.1 (32.1)	1,015 (1,339)	3.1 (22.1)
		受注高	33,221 (6,164)	53.4 (30.3)	34,219 (7,480)	48.7 (27.8)	998 (1,316)	3.0 (21.3)
		受注残高	399 (168)	3.4 (2.5)	551 (247)	3.3 (2.3)	152 (78)	38.1 (47.0)
	小 計	売上高	33,052 (6,061)	56.1 (33.3)	34,067 (7,401)	52.1 (32.1)	1,015 (1,339)	3.1 (22.1)
		受注高	33,221 (6,164)	53.4 (30.3)	34,219 (7,480)	48.7 (27.8)	998 (1,316)	3.0 (21.3)
		受注残高	399 (168)	3.4 (2.5)	551 (247)	3.3 (2.3)	152 (78)	38.1 (47.0)
合 計	売上高	58,916 (18,214)	100.0 (100.0)	65,399 (23,029)	100.0 (100.0)	6,483 (4,814)	11.0 (26.4)	
	受注高	62,265 (20,350)	100.0 (100.0)	70,239 (26,931)	100.0 (100.0)	7,974 (6,580)	12.8 (32.3)	
	受注残高	11,595 (6,640)	100.0 (100.0)	16,435 (10,542)	100.0 (100.0)	4,839 (3,901)	41.7 (58.8)	

(注) 下段の括弧内(内書)は、海外売上高・受注高および受注残高であります。

個別 部門別売上高・受注高及び受注残高

(単位 百万円)

分社区分	項目	前事業年度 (自 平成17年4月 1日 至 平成18年3月31日)		当事業年度 (自 平成18年4月 1日 至 平成19年3月31日)		増減金額 (百万円)	増減率(%)		
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)				
工業部門	流体技術 カンパニー	売上高	12,149 (5,828)	23.8 (42.9)	14,305 (7,335)	24.8 (40.0)	2,155 (1,506)	17.7 (25.9)	
		受注高	14,350 (7,536)	26.0 (49.3)	18,031 (10,835)	29.0 (49.5)	3,681 (3,298)	25.7 (43.8)	
		受注残高	7,828 (5,676)	70.1 (93.9)	11,554 (9,176)	73.9 (94.7)	3,725 (3,500)	47.6 (61.7)	
	I SOL カンパニー	売上高	6,245 (763)	6.4 (2.4)	8,146 (1,151)	14.1 (6.3)	1,900 (388)	30.4 (50.8)	
		受注高	7,091 (960)	6.8 (1.2)	8,821 (1,209)	14.2 (5.5)	1,729 (249)	24.4 (25.9)	
		受注残高	3,031 (456)	23.4 (4.6)	3,706 (515)	23.7 (5.3)	674 (58)	22.3 (12.8)	
	複合材 カンパニー	売上高	3,600 (3,435)	5.8 (20.6)	4,388 (4,324)	7.6 (23.6)	788 (888)	21.9 (25.9)	
		受注高	3,617 (3,435)	4.6 (16.4)	4,394 (4,324)	7.1 (19.8)	777 (888)	21.5 (25.9)	
		受注残高	19 (--)	0.0 (--)	26 (--)	0.2 (--)	6 (--)	32.1 (--)	
	小 計	売上高	21,995 (10,027)	41.9 (70.8)	26,840 (12,810)	46.5 (69.8)	4,845 (2,783)	22.0 (27.8)	
		受注高	25,059 (11,932)	43.3 (72.1)	31,247 (16,369)	50.3 (74.8)	6,188 (4,436)	24.7 (37.2)	
		受注残高	10,879 (6,133)	97.3 (100.0)	15,286 (9,692)	97.7 (100.0)	4,406 (3,558)	40.5 (58.0)	
	医療部門	医療機器 カンパニー	売上高	30,774 (4,919)	58.1 (29.2)	30,867 (5,541)	53.5 (30.2)	92 (621)	0.3 (12.6)
			受注高	30,866 (4,944)	56.7 (27.9)	30,916 (5,516)	49.7 (25.2)	50 (572)	0.2 (11.6)
			受注残高	309 (24)	2.7 (--)	357 (--)	2.3 (--)	48 (△24)	15.7 (△ 100.0)
小 計		売上高	30,774 (4,919)	58.1 (29.2)	30,867 (5,541)	53.5 (30.2)	92 (621)	0.3 (12.6)	
		受注高	30,866 (4,944)	56.7 (27.9)	30,916 (5,516)	49.7 (25.2)	50 (572)	0.2 (11.6)	
		受注残高	309 (24)	2.7 (--)	357 (--)	2.3 (--)	48 (△24)	15.7 (△ 100.0)	
合 計	売上高	52,770 (14,947)	100.0 (100.0)	57,708 (18,352)	100.0 (100.0)	4,937 (3,405)	9.4 (22.8)		
	受注高	55,925 (16,877)	100.0 (100.0)	62,164 (21,886)	100.0 (100.0)	6,238 (5,008)	11.2 (29.7)		
	受注残高	11,189 (6,158)	100.0 (100.0)	15,644 (9,692)	100.0 (100.0)	4,455 (3,533)	39.8 (57.4)		

(注) 下段の括弧内(内書)は、輸出額であります。



日機装株式会社

〒150-8677 東京都渋谷区恵比寿3-43-2
<http://www.nikkiso.co.jp>

2007年度決算
決算説明会資料

トピックス

—目次—

- | | | |
|------|---------------------------|---------------------------------------|
| P 2. | 流体技術カンパニー | : アジア・オセアニア地域における
サンダイン製品事業の強化・再編 |
| | | : 上海日機装ノンシールポンプ有限公司の
完全子会社化 |
| P 3. | インダストリアル
ソリューションズカンパニー | : 海外向け新型AWLの販売好調 |
| | 複合材カンパニー | : 複合材製品工場の増強工事開始。
カスケード売上高が過去最高 |
| P 4. | 医療機器カンパニー | : 金沢工場増産体制整う |
| | | : ドイツ MeSys 社のグループ会社化による
海外生産拠点の強化 |
| P 5. | 医療機器カンパニー | : 日本国外における、ニプロ株式会社への
人工腎臓装置の供給 |
| | 事業開発センター | : 高品質単層カーボンナノチューブ量産技術の開発 |

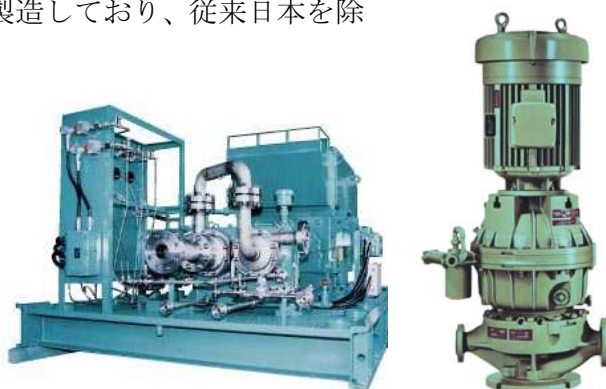
アジア・オセアニア地域におけるサンダイン製品事業の強化・再編

2007年4月、当社はアジア・オセアニア地域におけるサンダインポンプ・コンプレッサー製品(以下「サンダイン製品」)の事業強化・拡大を目的に、米国ハミルトン・サンドストランド社(以下「HS社」)と事業スキームの見直しを行ない、同地域におけるサンダイン製品事業のさらなる飛躍を目指します。

当社はHS社との合弁会社である日機装サンドストランド(以下「合弁会社」)を通じて、約30年間にわたり、サンダイン製品の事業展開を行なっています。サンダイン製品は、その優れた特性と高い信頼性から、ポリエステル繊維やペットボトルの原料となるPTA(高純度テレフタル酸)製造プラントの心臓部で活躍するなど、化学、石油化学、石油精製といったプラントには不可欠な製品です。

サンダイン製品は、当社とHS社の両社で製造しており、従来日本を除くアジア・オセアニア地域ではその両社がそれぞれのルートで販売していましたが、このたびの見直しで、同地域向けの製品の製造を当社に、販売を合弁会社にそれぞれ一元化しました。

今後も中国を中心にプラントなどの建設が計画されていることから、アジア・オセアニア地域のサンダイン製品市場は、引き続き成長するものと期待が持たれています。



サンダインポンプ HMP3000

サンダインポンプ

上海日機装ノンシールポンプ有限公司の完全子会社化

2006年12月、当社は中国企業との合弁会社、上海日機装ノンシールポンプ有限公司の中国側出資持ち分を譲り受け、同社を完全子会社としました。

上海日機装ノンシールポンプは、中国において当社ノンシールポンプ(無漏洩キャンドモーターポンプ)の製造、販売を行なっています。

現在、中国では日系、台湾系化学企業の進出が進んでいるほか、欧米から世界有数の化学会社が進出し、大規模なプラント建設を行なっています。このたびの完全子会社化は、この拡大する需要を確実に取り込み、従来からこれらのプラントに多数の販売実績を持つ当社ノンシールポンプをさらに拡販し、普及させるためのものです。今後は製品のアフターサービスも含めた事業の拡大を行ない、成長を続ける中国市場での積極的な事業展開を行ないます。



上海日機装ノンシールポンプ有限公司

海外向け新型 AWL の販売好調

電子部品市場における積層セラミックコンデンサの需要拡大を背景として、自動搬送機構がついた新型の温水ラミネータ（新型 AWL）が海外の IT 産業向けに好調で、前期下半期（2006 年 10 月～2007 年 3 月）には、受注台数が新型機としては過去最高となりました。

近年、携帯電話やパソコンなどの小型・高機能化にともない、搭載される電子部品の多様化もますます進んでいます。メーカー各社は独自の創意工夫で生産効率を強化していますが、新型 AWL は以下の特長により、このニーズに的確に応えました。

- ①自動搬送機構により、部材の作業待ち時間を短縮し、さらに人員の省力化、省スペース化を実現
- ②予熱装置により、積層圧着時に必要な昇温時間を短縮し、生産効率を倍増
- ③均一温度の静水圧圧着成型により、高品質の積層処理が可能
すでに、日機装の温水ラミネータは、優れた等方圧着能力で積層セラミック電子部品業界の標準機として、国内外を問わず広く使用されています。今後はさらに、既存のお客様はもとより、新規のお客様にも積極的に新型 AWL を拡販し、前年比倍増の受注を目指します。



自動搬送機構付き
新型温水ラミネータ

複合材カンパニー

複合材製品工場の増強工事開始。カスケード売上高が過去最高

2006 年 12 月、静岡製作所内にある複合材製品工場は、民間航空機用エンジンの逆噴射装置部品「カスケード」の需要増加と、複合材製品の開発力強化へ対応するため、建屋増築と新規設備の導入に着手。本年 11 月の完成時には、生産能力を現状の約 1.8 倍に増強する計画です。

これに先立ち、前期（2006 年 4 月～2007 年 3 月）は、民間航空機用 CFRP 製カスケードが 1983 年の生産開始以来、過去最高の売上高を達成しました。これは好調に推移する民間航空機需要に支えられたことに加え、当社が長年培ってきた製品品質および納期遵守体制が、ボーイング社、エアバス社などの大手航空機メーカーやエンジンナセルメーカーに広く認められたためです。



建屋増築風景

民間航空機業界のデファクト・スタンダードとして、他社の追随を許さない CFRP 製カスケードの需要は、今後ますます増加するものと思われ、各社の需要に対応する複合材製品工場の増強を急ぐとともに、他の航空機用部品への事業展開を積極的に行なってまいります。

金沢工場増産体制整う

2007年3月、医療機器消耗品の国内生産拠点である金沢製作所の、生産能力増強体制が整い、当社独自の人工腎臓用中空糸膜「PEPA膜」を使用したダイライザー(血液透析器)と、人工腎臓透析用剤(粉末型薬剤)の増産を開始しました。

省力化、自動化を進めた最新設備の導入により、ダイライザーは、年産300万本から500



増設のダイライザー生産ライン

万本への増産体制が整い、国内外で増加する市場の要求に対応した拡販が可能になりました。

また、人工腎臓透析用剤においては、その溶解が衛生的かつ自動的に行なえる当社独自の透析用剤溶解装置の販売台数増加とあいまって、近年販売数量が拡大しており、生産性の向上を図ることで、今後の受注増に対応できる体制を整えました。

ドイツ MeSys 社のグループ会社化による海外生産拠点の強化

2006年11月、連結子会社のドイツ法人 NIKKISO MEDICAL GmbH (以下「NM社」)は、ドイツ法人 MeSys GmbH Medizinische Systeme (以下「MeSys社」)の全株式を取得しました。

これにより、当社は、体外循環治療分野に関連する事業の強化を図るとともに、将来の欧州マーケット拡大を展望した、人工腎臓装置の欧州生産拠点を傘下に加えたこととなります。MeSys社は血液浄化、血漿交換装置などの体外循環治療用装置のメーカーとして医療メーカーへのOEM供給を行っており、その開発技術は高い評価を受けています。

今後は、当社製の欧州向け人工腎臓装置 DBB-05の海外生産拠点として、今期(2007年4月～2008年3月)後半を目処に国内の装置生産拠点である静岡製作所から順次移管していく予定です。

日本国外における、ニプロ株式会社への人工腎臓装置の供給

2007年4月、当社はニプロ株式会社へ、日本国外における人工腎臓装置の製品供給を行なうことにいたしました。

近年、世界の人工腎臓関連製品市場は、医療技術向上による長命化と海外における受診率の増加などにより、拡大が続いています。また、より高度な治療技術ときめ細かいサービスの提供に対する医療ニーズも高まっています。

このような世界的な血液透析市場の成長に対応するため当社は、海外での広範な製品供給と、サービスネットワークの構築が不可欠と考え、自社販売ルートに加えニプロ株式会社のルートに装置を供給することにいたしました。

また、日本国内の人工腎臓装置で50%以上のシェアを持ち、海外向け販売も急速に増加する当社は、世界での装置シェア向上を目指し、2006年11月に買収したドイツ MeSys 社において今期中に欧州での装置生産をスタートし、生産の拡大と開発の強化を行ないます。

このたびのニプロへの装置供給による販路拡大と、強化する装置生産をあわせ、当社は世界トップレベルの装置生産・販売体制を整えることとなります。



製品供給を行なう人工腎臓装置
DBB-05(左) および DBB-27(右)

事業開発センター

高品質単層カーボンナノチューブ量産技術の開発

2007年2月、当社は独立法人産業技術総合研究所（以下「産総研」）との共同研究により、高品質の単層カーボンナノチューブ（以下「SWCNT」）量産技術の開発に成功しました。この開発は、両者が保有する SWCNT 合成に関する要素技術を融合させたものです。

従来市場で入手可能な SWCNT は不純物を非常に多く含み、その結晶品質を落とす結果となる精製を行わないと使用できないものが大多数であり、実用化に向けた研究を難しいものにしていました。今回、当社が合成に成功した SWCNT は、純度が 95%以上で、結晶性が高く高品質であるため、精製が不要で、そのままでの使用も可能です。



当社製単層カーボンナノチューブ

当社では、2007年3月から SWCNT の用途開発促進のため、サンプルの配布を開始しています。これを起爆剤にして電気、機械、機能素材メーカーなどと当社の共同開発が連鎖的に立ち上がれば、産業応用開発のスピードを大幅に早めることができ、SWCNT を利用したナノテク技術や省エネ技術の開発に道を拓くものと期待できます。



日機装株式会社

〒150-8677 東京都渋谷区恵比寿3-43-2
<http://www.nikkiso.co.jp>